

議会だより



12月の
定例会

② 現地調査報告

特定復興再生拠点区域

④ こんなことが決まりました

11月臨時会・12月定例会・1月臨時会

③ 全員協議会報告

準備宿泊・避難指示解除に
向けた対策は

⑧ ズバ!!!町政を問う

3議員が質問



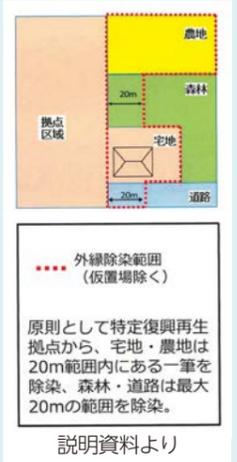
富岡町議会の
ホームページはこちら

懐かしさに顔がほころぶ / (令和4年成人式)

◆除染解体工事及び中間貯蔵施設への輸送並びに特定廃棄物埋立処分事業の状況について (環境省)

問 進捗の予定と現在の状況に差がある。除染・解体の進捗率を上げる管理は。また、事後モニタリング結果はどの範囲か。(堀本典明)

答 環境省
現在着手している農地や森林の除染の完了で数字があがってくる予定です。工程会議においては環境省の幹部も入り、監督しています。また、事後モニタリングの範囲は拠点区域内のみとなっております。



問 外縁除染の範囲にかかる宅地・農地は一筆分全て除染するところがあるが、所有者が同じで複数の筆の場合は。(渡辺三男)

答 環境省
現地を確認し、現況を確認しながら進めています。

◆特定復興再生拠点区域内への立入規制緩和について (企画課)

問 仮設トイレの設置は、準備宿泊者の動向を見ながらではなく、開始時から数を増やしておくべきでは。(渡辺三男)

答 生活環境課
仮設トイレの数や設置場所などを再度検討し、必要であると判断しましたら、増設も視野に入れています。

問 水が使えない状況で、町内の仮設トイレの数が少ないと思われるが、増設の考えは。(渡辺正道)

答 企画課
通水の際に漏水が確認されることもあることから、給水開始時には担当者の立ち会いが必須となり、物理的にも人的にも厳しい状況ですが、準備宿泊前の開始受付は前倒しできる予定です。

問 準備宿泊に向け、家の掃除等、上下水道の使用が必要と考えるが、立入規制緩和時に使用できない理由は。(遠藤一善)

答 副町長
町としても拠点区域外を含めた町全域の早期避難指示解除が一番の目的です。様々な課題がございますが、国ともよく相談しながら進めてまいります。

問 夜間警備について、準備宿泊が開始されたら、宿泊者の家を重点的にパトロールしてもらいたい。(高野匠美)

答 生活環境課
夜間警備の強化が防犯には大事な要素と考えます。情報を警察・消防等とも共有することに加え、委託業者にも、これまで以上に見回りを行うよう申し入れます。



問 個人の財産、生命を守るためにも必要である、警察・消防・町の連携体制は。(佐藤啓憲)

答 生活環境課
パトロールで見えられた被害等は町に報告され、町から所有者にお伝えするなど連携をとっており、今後も継続してまいります。

令和5年春の特定復興再生拠点区域内の避難指示解除を目指し各種整備が進められていることから、令和3年10月7日および11月29日に拠点区域内の現地調査を実施しました。町執行部をはじめ、内閣府からは原子力被災者生活支援チームおよび原子力災害現地対策本部、環境省からは福島地方環境事務所より、それぞれ担当者においでいただき、7日視察終了後の意見交換会では議員から多くの意見や要望が出されました。

議員が切り込め!! 質疑応答

問 準備宿泊希望者の家屋の周辺も除染を。(佐藤教広)

答 環境省
優先的に希望者の周辺の土地の方にアプローチすることを重ね、ご心配のないよう進めてまいりたいと思います。

問 拠点区域外の土地を有効に活用するため、早期の検討を求める。(佐藤教広)

答 環境省
これから細かく住民の皆さまのニーズをお伺いし、町とも相談してまいります。

問 帰還意向者及びその周辺環境の調査、把握はできているのか。所有者との意見交換をしっかりと。(佐藤啓憲)

答 生活環境課長
現在調査中ですが、環境省と町でそれぞれ把握しております。町から所有者の意思確認など積極的にアプローチをかけていきます。

問 頻繁に除草ができる人ばかりではないので、準備宿泊前に除草を再度行ってほしい。(遠藤一善)

答 環境省
現時点で解決策の明示はできませんが、町と相談してまいります。

問 令和5年の避難指示解除に向けて、同意があれば立ち会いなしで解体できるようにし、スピードアップを図っては。(安藤正純)

答 環境省
現在はトラブルを避けるために立ち会いをしていただいておりますが、今後、受注者とも相談しながら検討したいと思っております。

問 除染の際の支障木以外でも、所有者の希望があれば伐採すべきでは。また、拠点区域外の住民の不安払しょくのため、拠点区域外の計画の発信もきっかけしてもらいたい。(渡辺三男)

答 環境省
現在は、土の剥ぎ取りを進めることにより線量低減を図っており、除染のために支障木以外を伐採することは難しいのが現状です。また、拠点区域外の計画につきましては、住民の皆さまに納得してもらえよう除染や線量低減のあり方を、具体的にできるだけ早く町と相談しながら検討してまいります。



10月7日



11月29日

一般会計 補正予算

事業の進捗を踏まえた精査等による減額

《4億2,543万円を減額補正》

事業の精査及び整理により4億2,543万円の減額補正を行い、総額140億9,814万円となりました。補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業内容(費目名)	補正予算額
健康増進センター事業費(工事費)	7,559万円減
子育て世帯臨時特別給付金給付事業(給付金、委託料 他)	9,104万円増
【追加議案】 子育て世帯臨時特別給付金給付事業(給付金、委託料)	8,850万円増
営農再開支援事業(鳥獣被害防止施設購入費 他)	3,263万円減
被災地域農業復興総合支援事業(工事費 他)	2,420万円減
道路維持管理事業費(謝礼、委託料)	2,603万円減
照明灯管理事業費(工事費、光熱水費)	2,450万円減
富岡町内防火防犯パトロール事業費(委託料 他)	1億5,852万円減
歴史民俗資料館事業費(委託料、工事費 他)	1億7,741万円減
道路橋梁施設災害復旧事業費(工事費)	1,000万円増
その他	9,609万円減

農業農村振興施設管理事業費が大きく減額されているが、麦などの作付けで町内に農地を借りている農業法人等の状況は、(渡辺三男)

答 産業振興課長
令和元年度から令和2年度にかけては約36%減少しており、本年度につきましても令和2年度より少なくなる見込みです。

答 企画課長
顔が見えることで信頼に繋がりますので、まちづくり会社と一緒に進めてまいります。

答 産業振興課長
鳥獣被害について、被害防止施設購入費と緊急対策事業費が減額となっている。鳥獣捕獲はどのような状況か。(安藤止純)

答 総務課長
移住相談会の出店負担金の減額について、コロナ禍でできなかったことは理解できる。来年度に向けてより強く事業を進めていきたい。(宇佐神幸)

議員が切り込む!!
質疑応答



答 生活環境課長
減額につきましては請け差です。今後、立入規制緩和、準備宿泊を見据え、1月から当該業務の中でパトロール台数を増やし、状況を見て増台の必要性を勘案しながら進めます。また、警察署、消防署ともしっかり連携を図りながら、安全安心の材料になるよう進めていきます。

答 産業振興課長
減額については、当初予算で農業法人の進出を含め余裕をもって計上をしていたためです。なお、町内では主に清水地区、上郡山地区、本岡地区等において水稲や小麦、そばの作付けが行われております。上手岡地区ではブロッコリー等の試験栽培も行われており、今後も町内での拡大が検討されています。

答 防火防犯パトロール事業費の委託費が大きく減額。今後、立入規制緩和や準備宿泊に向けて防犯対策は強化すべき。警察や消防とも調整を。(佐藤啓憲)

答 総務課長
設計においてはメーカー指定ではなくタイプ別同等品としております。また、メンテナンスについても考慮し、設定及び選定をしております。

【特別養護老人ホーム什器等備品購入】

特別養護老人ホーム什器等備品の購入について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決



富岡町共生型サポート拠点として整備中の2つの施設の名称は、それぞれ「特別養護老人ホーム桜の園」「サポートセンターとみおか」に決定いたしました。

【概要】

- 取得予定価格 3,484万8,000円
- 契約相手方 富岡町大字本岡字新夜ノ森176番地の3 サトウ事務機器
- 購入物品内訳
 - ・テーブル、イス、ロッカー、収納家具、耐火金庫、薬品棚、洗濯機 他

【公害防止協定の締結】

地域における住民の健康の保護及び生活環境の保全を図るため、公害防止協定の締結を可決しました。

こちらは、富岡第二工業団地(赤木地内)に立地していた企業から事業継承をした当該企業が同内容で協定を締結したものです。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【概要】

- 締結の相手方 富岡町大字本岡字赤木100番地22 ROCKWOOL Japan合同会社



【富岡町立学校給食調理場建築工事】

富岡町立学校給食調理場建築工事の工期の変更について、可決しました。

(12月定例会) 全会一致 原案可決

【工事請負契約の変更概要】

- 工期 (変更前) 令和4年2月28日 (変更後) 令和4年3月14日
- 変更理由
 - ・工事工程に変更が生じたため工期を変更。



建築中の学校給食調理場

答 教育総務課長
給食調理場につきましては、衛生基準自体が非常に厳しく設定されています。万全を期して消毒なども適宜行い対策してまいります。

【給食調理場建築工事の変更】
工事と並行した事前の調理研修が可能とあるが、新型コロナウイルス感染症拡大がある中で、工事関係者だけでなく調理研修の関係者も入るとなると、まん延の恐れもあるので、しっかりとした感染対策を。(渡辺三男)

【動産の取得】

答 総務課長
設計の際にメーカー指定をしてしまうと、業者等が限られてしまうと考える。広く対応できるように対策を。(安藤止純)

動産の取得

こんなことが決まりました。

工事請負契約の変更及び協定の締結



議員が切り込む!!
質疑応答



令和3年第7回定例会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆条例の改廃案件		
発委第1号	富岡町議会委員会条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第92号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第93号	富岡町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第94号	富岡町借上げ型町営住宅条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第95号	富岡町税特別措置条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第96号	富岡町企業立地促進区域及び避難解除区域等における町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第97号	富岡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第98号	富岡町消防団設置に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第99号	富岡町立小中学校体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第100号	富岡町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第101号	富岡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第102号	富岡町養護老人ホーム設置条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決
◆町道路線の廃止案件		
議案第103号	町道路線の廃止について	全会一致 原案可決
◆規約の改正案件		
議案第107号	双葉南地区心身障害児就学指導審議会共同設置規約の一部を改正する規約について	全会一致 原案可決
◆追加議案		
議案第114号	令和3年度富岡町一般会計補正予算(第5号) (子育て世帯臨時特別給付金10万円を現金一括給付とするため)	全会一致 原案可決

※第7回定例会における「動産の取得」、「工事請負契約の変更」、「協定の締結」、「令和3年度補正予算」は別頁に詳細を掲載しております。各議案の内容については富岡町ホームページにおいても報告しておりますので、ご参照ください。



臨時会・定例会審議議案一覧

令和3年第5回臨時会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆補正予算案件		
議案第88号	令和3年度富岡町一般会計補正予算(第3号) (放課後児童クラブ等の開設に係る予算の計上)	全会一致 原案可決

令和3年第6回臨時会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆条例の改正案件		
議案第89号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第90号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第91号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決

令和4年第1回臨時会で審議した議案とその結果

上程議案・概要		結果
◆補正予算案件		
議案第1号	令和3年度富岡町一般会計補正予算(第6号) (非課税世帯に対する臨時特別給付金10万円および生活困窮世帯灯油購入費助成5千円に係る予算の計上)	全会一致 原案可決

議員が切り込む!! 質疑応答

第5回臨時会

問 放課後児童クラブ等の運営委託の内容と運営の場所は。(佐藤教宏)

答 教育総務課長
平日は放課後から18時30分まで、土日及び長期休暇期間は7時30分から18時30分までを想定しており、放課後子供教室を併設することにより、小学生全児童を対象とする考えです。場所については富岡第二小学校の体育館を活用する予定です。

問 駐車場周辺について、保護者が迎えに来る際に危険がないよう考慮を。(高野匠美)

答 教育総務課長
安全が保たれるよう整備及び対応をします。

問 保護者が富岡町内に勤務している等で希望者がいる場合は対象となるのか。(佐藤啓憲)

答 教育総務課長
特別な事情がある場合は受け入れる考えです。



安藤 正純 議員

問 処理水海洋放出決定への対応は

答 丁寧な説明を求め不安の解消

問 令和5年春頃から開始予定の海洋放出作業の直前までに町民懇談会を開催し、町民の方々から意見を聞いて町としての判断をすべきでは。

答 町長 11月2日町行政区域長会を開催し、健康への影響・新たな風評被害発生を不安に加え十分な理解を得るため説明を継続してほしいとの要望も出され、町は国に丁寧な説明が尽くされることを求めました。懸念は持っています。

問 現地自治体である町は政府方針決定以降なんらかの要望を行ったか、又、海洋放出に懸念を持っているか。

答 町長

真摯に受け止めます。町民の皆さんと懇談を持ちながら、どういう考えを持っているかしっかりと聞いて判断したいと思っています。



解除が待たれる桜並木

答 町長 地域の資源と特性を活かした住環境の整備や、年間を通して人を呼び込むイベントを開催し町の魅力を積極的に情報発信します。又、移動販売やデマンドタクシーを活用した買い物環境や交通利便性の向上を図ります。

問 先行解除した富岡駅前・曲田地区を中心に賑わっているが、遅れている夜の森地区を含めた均衡ある町発展の施策は。

答 町長 真摯に受け止めます。町民の皆さんと懇談を持ちながら、どういう考えを持っているかしっかりと聞いて判断したいと思っています。

答 副町長 行政側で設置するより民間企業を支援する事が非常に近道だと思いますので、企業誘致の考え方で企業の手法による農業経営の事業者を誘致することも選択肢として、重要であり土地利用として積極的に努めたいと考えます。

答 産業振興課長 質問の事業については秋田県内において県事業として、大規模な農地の整備を行いながら年間1億円以上の売り上げを目指す、省力化・低コストを推進しております。県・JA等の協力により荒廃農地の抑制に向け参考にします。

問 荒廃する農地対策として集積・集約された農地を一定規模買い取り、農業専用のギガ園芸団地を造成しては。



答 産業振興課長 平成29年度から令和3年度まで、3,319万円となっており、苗の植え付け・植栽に係る技術の習得・研修費用等です。効果については町内に県内外から多くの人が訪れ、交流人口の増に一定の効果を取っています。

問 ワインドメーヌに対する補助金(富岡町産業振興補助金)はいくらからどれくらいの金額が支出され、どの様に使われ効果はあったのか。

問 補助金効果の検証は 交流人口の増に成果あり



荒廃が心配される農地



答 総務課長 ワインドメーヌに対する補助金はスタートアップのための費用を一部補助してきましたが、5年間の補助期限を迎えましたので、終了したいと考えています。

答 町長 補助金等交付事業の効果につきましては、事業評価の実施や予算編成の過程で継続して確認を行い、必要に応じて、補助金の交付終了を含め事業の見直しを行ってまいります。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

ズバリ!!

町政を問う



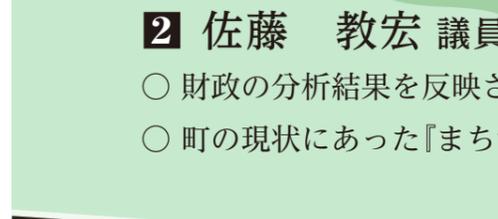
3議員が質問

12月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



1 安藤 正純 議員 9

- 処理水海洋放出決定への対応は
- 補助金効果の検証は



2 佐藤 教宏 議員 10

- 財政の分析結果を反映させるべき
- 町の現状にあった『まちづくり』を



3 遠藤 一善 議員 11

- 準備宿泊の開始目標は
- 定住に向けた住宅確保施策を



山本 育男 町長



※山本町長の一般町政報告はこちらから

動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。



遠藤 一善 議員

問 準備宿泊の開始目標は

答 令和4年ゴールデンウィーク頃



答 町長
除染や解体工事に遅れが生じており、開始時期の見極めに時間を要しておりますが、準備宿泊を希望されるご家族の精神的、時間的な面を考慮し、ゴールデンウィーク頃が理想的であると考えています。

問 特定復興再生拠点区域の準備宿泊開始は令和4年春となっているが、春までには数ヶ月と迫っており、宿泊への準備を考えると具体的な開始目標時期は。

答 町長
令和4年3月定例会前後になります。

問 準備宿泊の具体的な開始時期を示せるのはいつ頃になるか。

答 副町長
1月26日以前に意向調査を送ることは十分事務的に可能ですので、できるだけ早く送る準備をします。



バリケード撤去により自由通行が可能に

問 定住に向けた住宅確保施策を

答 多様な住宅形態の確保を継続検討

問 町および民間の努力が功を奏し、町内への移住者は家族連れも含め着実に増加しているが、町内では戸建て住宅が不足しており、定住に向けた新たな課題となっている。町は住民の定住化に向けた住宅確保施策をどのように考えているのか。

答 町長
町は優良で安定した住宅が確保され、速やかに入居できる状態となっていることがまずは必要であると考えています。現状、公共提供住宅を含め、ニーズに沿った住まいの確保が課題であると認識しており、町有地の活用を検討する中で住宅用地の提供などを含め、多様な形態の住宅を様々な手法により確保することの検討を引き続き行います。



問 財政の分析結果を反映させるべき

答 メリハリのある予算配分を継続



答 町長
経常収支比率は高比率の状態にあり、財政の硬直化は否めないものの、公債費は減少傾向にあり、基金も確保されています。しかしながら、歳入を見通すことが困難で、施設維持管理費等の増大も想定されることから、メリハリのある予算配分を継続します。

問 令和2年度決算から町の財政状況を分析した結果は。また、今後の町政運営にどのようにつながっていくのか。

答 町長
町税納付の啓発、未納者への徴収対策を実施し、収納率の向上に努めます。また、経済の活性化を図るとともに、移住定住を促進することで町税の確保に取り組みます。



今後、機能回復工事が行われる新田団地

問 町政運営の根本である町税の確保について、どのように考えているか。

問 複合災害からの復興だけでなく、全国的な人口減少、新型コロナウイルス感染症拡大などの社会的問題も踏まえた『まちづくり』をしなければならぬと思うが。

答 町長
社会情勢は日々変化していることから、総合計画を基本としつつ、柔軟な発想と堅実さをもって進めていきます。

問 移住定住や交流人口の増加および財源の確保について、民間主導の公民連携でまちづくりをしている自治体や、ビジネス現場で使われるマーケティングや経営戦略を駆使し政策立案をしている自治体が成功している。このように自立した持続可能な町政運営をすすめるためには、町税等

問 町民の想いや社会情勢を見極め、計画等を見直ししながらまちづくりを進めることが重要と考える。莫大な予算を必要とする健康増進施設の建設計画については、他自治体でも実施している、民間企業に公有地の有効活用を提案してもらい、町と思考が一致した企業に事業展開してもらう方法にすれば、固定資産税や法人税などの税収が得られ、建設コストもかからず、夜の森地区の拠点となり得る施設ができると思うが。

答 企画課長
民間企業の協力、活発化によって経済が回り、良い循環が生まれるような事業の組み立てが必要と考えています。

答 副町長
夜の森地区の交流及び拠点施設として非常に重要な施設と認識していますが、新型コロナウイルス等以前と状況が異なっていることもあり、規模や機能について再検討するなど既存の計画を尊重しながらも慎重に検討します。



旧リフレとみおか跡地

問 町の現状にあった『まちづくり』を

答 情勢に応じて柔軟に対応

問 一般財源を確保出来る仕組み作りが重要であると思うが。

答 副町長
町の現状に合わせた『まちづくり』を情勢に応じて柔軟に対応してまいります。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会が調査した主な事業について報告します。



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

＜今後の公営住宅について＞

- Q** 新田団地の機能回復の工程・計画は。また、公営住宅の空きが少なく、移住・定住を考えていても踏み出せない状況では。
- A** 新田団地につきまして、今年度前半に被害調査を行い、今年度中に実施設計を計画、来年度1年かけて機能回復工事の予定です。なお、町内の公営住宅に空き室が少ないことは承知しており、民間の賃貸住宅を借上げ型の町営住宅とする計画があります。【総務課】



機能回復工事が行われる新田団地



入居が開始されている上の町団地

＜準備宿泊の開始時期について＞

- Q** 準備宿泊の目標時期を絞るべきでは。時期が決まることで、除染・解体等も進むと考えるが。
- A** 準備宿泊に向かったスケジュールを組んでいきます。解除するにふさわしい環境整備が最も重要と考えますので、住宅地の除染や危険家屋の解体等を進められるよう働きかけていきます。【企画課】

＜帰還困難区域への立ち入りの簡素化を＞

- Q** 令和5年春の拠点区域解除後、残された帰還困難区域である6号線東側の深谷・小良ヶ浜地区への立ち入りを簡素化してはどうか。
- A** ハード整備の方法や線量管理の問題等の解消が課題となりますが、現在、内閣府と協議をしています。【住民課】

＜ここにこども園、小中学校の防犯対策及びセキュリティの強化を＞

- Q** 子どもたちを守るためのセキュリティとして、防犯カメラの拡充や侵入防止のための設備等の対応策は。
- A** 今後、防犯カメラの増設や施設の施錠、先生方の目配り等を強化するなど、対応していきます。また、教職員の訓練や警察署からの協力を得ることでシミュレーションしながら、ソフト面での強化も図っていきます。【教育総務課】

＜感染症への対策は＞

- Q** 感染症の拡大防止のため、イベントやスポーツ大会への参加条件等は、県の教育委員会や各種団体からの指導などに応じて対策するのか。
- A** 感染対策マニュアルに沿うなど、各事業の中において感染症対策をとっています。例を挙げますと、ふくしま駅伝は日本陸上競技連盟の基準により行われました。【生涯学習課】

＜外国人への対応について＞

- Q** とみおかアーカイブ・ミュージアムの英語版リーフレット作成とあったが、外国人への対応はどのような体制となっているのか。
- A** プロジェクションマッピングも英語対応となり、多言語化のコンテンツは次年度以降も計画します。



英語表記のリーフレットや映像、常設展の展示物

【生涯学習課】



総務文教常任委員会の様子

- 〇 議事事務局
- 〇 生涯学習課
- 〇 教育総務課
- 〇 住民課
- 〇 出納室
- 〇 税務課
- 〇 企画課
- 〇 総務課
- 〇 総務課

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会が調査した主な事業について報告します。



※常任委員会とは②

全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。
行政視察や事業の現地視察も実施します。

＜夜の森公園の整備について＞

Q 近隣に限らずだれでも使え集まることのできる、拠点となるような公園にしてほしいと考えるが。

A 桜やモミジなどを配置するなど、四季を通じて活用ができ、人が集まるようなコンセプトで検討を重ねていきます。

【都市整備課】

＜帰還困難区域内の桜並木の保全を＞

Q 桜の保全は解除済み区域のみが対象であると思うが、帰還困難区域内においても最低限の保全はできないか。

A 今年度、桜の剪定・保全を行っているのは解除済み区域のみですが、年度ごと計画を立てながら、危険度の高い場所から優先的に行っていく考えです。

【都市整備課】



キレイな花を咲かせるため保全が必要な拠点区域内の桜の木

＜リスクコミュニケーション事業の拡充を＞

Q 健康カレッジにおいてトリチウムに関する講話があったが、町民向けに、処理水を含めたトリチウムに関する長崎大学の見解などを話してもらう機会を作っては。

A 生活環境課、環境省とも協議し、できる限り対応していきたいと思います。

【健康づくり課】

＜東風荘の入所者について＞

Q 現在、東風荘に入所されている方の転所先は決まっているのか。

A 共生型サポート拠点や養護老人ホームなど、入所者全員の転所先が決まっており、現在は手続きを進めているところです。



3月末に閉所となる東風荘

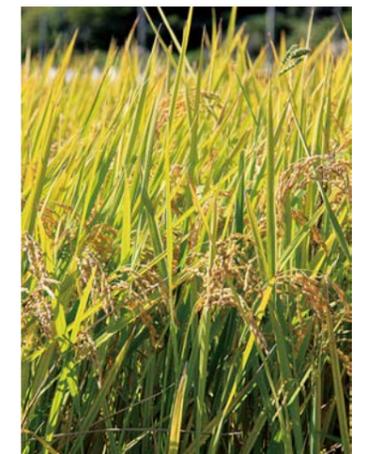
【福祉課】



＜農業の新規参入者誘致の計画は＞

Q 個人の農業研修応援事業について

A 令和3年8月にJA福島さくらふたば地区本部(下郡山真壁300)の敷地内に農業研修の受け皿となる施設「JAアグリサポートふたば」が完成いたしました。
研修施設とも連携し、情報の発信をしていきます。
また、現場に足を運ぶ等して、生産者の困りごとを聞いていきたいと思っています。



令和3年原下地区の水田

【産業振興課】



産業厚生常任委員会の様子

- 健康づくり課
 - 福祉課
 - 郡山支所
 - いわき支所
 - 生活環境課
 - 農業委員会
 - 都市整備課
 - 産業振興課
- 【所管課】

復興へのあゆみ Step.23

様々なイベント等で、町民の方から多く聞かれるのは『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。皆さまの先が見えない不安を少しでも解消できるように、富岡町の現状をお伝えします。

2021.10.23 三春校学習発表会

各校において開催された学習発表会及び永桜祭では、それぞれ生徒の作品の展示や各種発表、合同のよさこいなどが披露されました。

三春校は最後の学習発表会ということもあり、児童生徒や保護者、教職員全員の気持ちがより強くひとつになった発表会となりました。



三春校

「ありがとう」最高の思い出を永遠に



富岡校

We are the one
～距離は遠く、心は近くに～

2021.10.30 富岡校【永桜祭】

2021.11.21 第33回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会



今年も新型コロナウイルス感染防止対策により沿道での応援が縮小されましたが、天気にも恵まれ、富岡チームが晩秋の福島路を駆け抜けました。

【結果】

- 全体順位 48位
- (町の部 26位)
- タイム 6時間08分57秒



2021.11.28 富岡町芸能祭・作品展

震災後初の芸能祭・作品展が開催され、芸能祭には10団体が参加し、YOSAKOIでは舞台上と観客がひとつになる場面や、音読では懐かしい声に涙する一幕など、様々な演目を楽しみました。

また、作品展を見て回りながら笑顔がこぼれる方や、舞台上に立つ家族の応援に来た方など、たくさんの来場者で賑わいました。



【海底トンネルの必要性は】



佐藤教宏議員

処理水が安全であるなら、莫大な費用で海底トンネルを建設して1km先に流す必要はないのではないか。

ALPS処理水は海水で希釈して放出する計画としていますが、放出した水を再度希釈水として取り込まないように、放出点を沿岸から1kmとしました。なお、海洋放出の拡散シミュレーションを行い、トリチウムは海洋に拡散され、通常の海水と同等の濃度になることを確認しました。



東京電力HD(株)

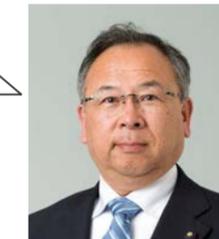
【ヒューマンエラーへの考えは】



東京電力HD(株)

処理水放出の際の線量測定方法に対しても、東京電力からは安全だと説明された。ヒューマンエラーが発生するという仮定のもとに行うべきと思うが、どのように考えているのか。

処理水の希釈放出設備には緊急遮断弁を設け、異常時には速やかに最小の量で放出を止める設計とする計画ですが、一方で、先日のヒューマンエラーによる分析前の雨水散水のようなことを発生させないように、対策を検討し、徹底してまいります。



遠藤一善議員

【幅広いシミュレーションを】



渡辺正道議員

海洋シミュレーションの図があるが、海洋条件や気象条件によって流れは変わるもの。せめて四季に分けたシミュレーションを作ることによって漁業者からの理解に始まり国民の理解へ繋がると考えるが。

今回は1年分のシミュレーション結果の平均値をお示ししましたが、海洋条件や気象条件に応じてお示しすることが、ご理解・ご安心に繋がることと受け止め、ご説明の仕方も工夫できるよう検討いたします。



東京電力HD(株)

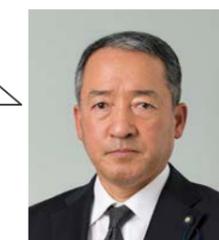
【全ての業種に平等な賠償を】



東京電力HD(株)

職種によって本賠償・追加賠償に差がある。8年前に策定した中間指針では想定されていなかった様々なことが現実的にあり、そういったことにも耳を傾け対応すべきでは。

業種によっての差があるとの声を受け止め、中間指針によらず対応させていただく余地をもちながら、ひとつひとつのご事情を丁寧にお伺いして対応させていただきます。



安藤正純議員

ちよとと

みなさまの声

Q. 20歳を迎えた感想は？

A. ついに、20歳を迎えたのかという実感です。新たな道を進むと同時に、先輩方を見て良い所をどんどん吸収していき、芯を持って行動し、たくさんステップアップしていきたいです。

Q. 20歳を迎え、まずやってみたいことは？

A. 友人との時間を楽しみたいです。行きたかった場所、食べたいもの、やりたいことなど、思う存分に楽しんで、いい思い出をたくさん作りたいです。また、これからも友人や関わっている周りの方々を大事に過ごしていきたいです。

Q. ふるさと富岡での思い出で、心に残っていることは？

A. 父と休日によく公園で遊んでいたのが思い出です。休日は必ず公園に行き、季節問わず駆け回っていました。鉄棒が大好きで、上手くなるために手にあちこち血豆ができるほど父と練習したことが心に残っています。

Q. 富岡の復興のために、何が必要だと思いますか？

A. 現在も富岡町の桜がきれいに咲いて、みんなが見に来る光景を毎年目にしています。このように震災後も桜が毎年見れているのは、富岡町を大事にしてくださっている皆さま方があってだと思います。なにより、人の手がなくては何もできかねます。復興のためには富岡町への思いと、少しでもご尽力して下さる方々が、この先も必要になってくるのではないかと思います。

Q. 将来の夢はなんですか？

A. たくさんの経験を積んで地盤を固め、様々なフィールドを経て、希望の職務に就くことが目標です。マネジメント力などを高め、上に立ち、指導・教育を目指しキャリアアップしたいと考えております。



成人式実行委員長
羽山由夏(はやまゆうか)さん

【経歴】

- 茨城県立岩瀬高等学校 卒業
- 八文字学園水戸経理専門学校 在籍

議会を傍聴しませんか？

- 3月定例会は、7日(月)～10日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所(市町村名まで)・氏名・性別・年齢を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



編集後記

新年あけましておめでとう
ございます。

表紙は、成人式での一コマです。震災当時小学三年生だった新成人の皆さんには、富岡町での思い出は少ないと思いますが、成人式に出席していただいた事は、町の未来に大きな希望になります。今後も町に関心を持ち続けていただきたいと思えます。

今春には、特定復興再生拠点区域での準備宿泊が開始される予定となっており、議会では除染の状況を確認し、国関係機関に会議をとおり、必要要望をしており、今回はその内容を掲載し、町民の皆さんに議会活動をお伝えできるように編集しました。

(堀本 典明)

発行責任者

議長 高橋 実

議会報編集特別委員会

委員長 高野匠美

副委員長 佐藤啓憲

委員 佐藤教宏

委員 堀本典明